

令和元年 第3 回定例会

～平成30年度の決算を審査～

8月28日～9月20日「決算議会」を開催

令和元年第3回定例会が8月28日から9月20日までの24日間の会期で開かれ、平成30年度の決算を中心に36件の議案等について審議しました。



●最終定例議事を終えて

小美玉市議会議長 市村文男

私達、小美玉市議会議員は平成27年12月より4年間で、小美玉市議会として市政に携わって参りましたが、本年11月末を持ちまして、任期満了を向かえ退任いたします。これまで市民の皆様方には議会活動に対して、多大なるご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

また、この間、私が議長として職務を全うさせていただきましたが、同僚議員、そして島田市長をはじめ執行部の皆様方の温かいご理解とご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

任期中は、「議会の憲法」と称される、「小美玉市議会基本条例」の基本理念である、「市民の負託に応えうる開かれた議論に基づく公平公正な議会」を目指し、議会改革を積極的に推し進めるとともに、議会活動の活性化を図るべく全議員一丸となって取り組んで参りました。

市政においては、小美玉市医療センターの民間移譲、小美玉市第2次総合計画の策定、全国ヨーグルトサミットの開催、羽鳥駅橋上駅舎化、茨城空港アクセス道路の一部供用開始など、

ハード、ソフト両面から島田市長が掲げる「住んでみたい、住んで良かった、これからも住みたい」魅力あるまちづくりの実現に向けて多様な取組みが進められました。

市議会としても、地域医療対策、百里基地・茨城空港対策や地方創生まちづくり等、議会として政策課題を洗い出し、調査研究しながら執行部に対し4項目の政策提言を行うなど、市民の皆様が夢や希望を持てるまちづくりを目指して活動してまいりました。

今後、小美玉市を取り巻く状況は、地球規模の観点から経済・環境問題等への対応が求められており、国内経済・地域社会の活力が損なわれないよう人口減少時代における効果的かつ効率的な行政サービスを描いていかなければなりません。

残りわずかとなりました在任期間の中で、議会そして議員個々の活動を通じて、引き続き、市民の皆さまの声を伝えていけるようその責務を全うして参りますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市財政の健全化判断比率状況

(H30 総務省速報)

実質公債費比率 7.3%

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H30	7.3%	22位	6.8%	25% (18%)*
H29	7.4%	21位	6.8%	
H28	7.2%	21位	7.1%	

順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位。

*早期健全化基準が18%に達した場合は、新たな借金をする際に県の許可を要するなどの制限がある。

将来負担比率 62.4%

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H30	62.4%	33位	37.1%	350%*
H29	64.1%	30位	37.0%	
H28	61.2%	29位	55.0%	

順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位。

*将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

H30年度会計別の決算額

会計別		歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比	
一般会計		254億1,284	245億5,300	8.6%↑	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	56億8,053	56億7,371	11.9%↓	
	(白河診療所)	1億3,282	1億1,918	3.9%↓	
	後期高齢者医療保険	5億1,813	5億1,494	5.2%↑	
	下水道	16億4,978	15億7,269	6.2%↑	
	農業集落排水	2億9,736	2億8,995	61.5%↓	
	戸別浄化槽	2,706	2,472	52.3%↓	
	霊園	1,972	1,844	13.8%↑	
	介護保険(事業)	39億2,621	38億8,599	5.8%↑	
(サービス)	346	328	31.8%↓		
合計		376億6,791	366億5,590	2.8%↑	
企業会計	病院	収益的収支	1億8,147	1億8,147	
		資本的収支	2,746	3,050	
	水道	収益的収支	8億2,948	7億7,759	
		資本的収支	4億4,282	9億5,917	

20日	19日	17日	13日	12日	11日	10日	6日	5日	4日	9月	28日	8月	日程	
議会運営委員会 全員協議会 本会議(委員長審査報告 採決、閉会)	議会活性化特別委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務常任委員会 地方創生まちづくり特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	本会議(一般質問) 広報特別委員会	本会議(一般質問) 百里基地・茨城空港対策 特別委員会	本会議(一般質問)	本会議(開会、議案上程)	全員協議会 本会議			会議等の主な内容
3名	-	-	-	-	-	-	20名	7名	11名	2名	-	-	傍聴	

9月定例会(傍聴者数)

計報



去る7月14日、小美玉市議会議員、大和田智弘氏が逝去されました。大和田氏は、平成4年に旧玉里村議会議員に初当選され、崇高な理念と卓越した識見を持って議会活動に参画されました。旧玉里村では玉里村議会議長をはじめ、議会運営委員長、経済常任委員会委員長、など、村の基幹産業である農業の振興を図るべく、農業生産基盤の整備と強化など、効率的かつ安定的な農業経営の育成に尽力され、農業行政の幅広い各種施策の実現に向け、多大な貢献をされました。合併後は、小美玉市議会議員として、議会運営委員長、総務常任委員長などを歴任され、この間、執行機関との綿密な連携を保ち、円滑な議会運営を図ることに努められ、小美玉市の振興と発展に、無類無数の功績を残されました。生前のご功績に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

各会計決算を認定

くわしく解説

収入

給料（基本給）…**市税** [市民の皆様から市へ直接納めていただいた税金]

給料（諸手当）…**地方交付税、各種交付金** [国に納められた税金のうち市に配分されたお金]

パート収入……………**使用料、手数料、財産収入、寄附金**

[保育所や放課後児童クラブに通うとき、住民票等の証明をもらうとき、市の施設を利用するときなどに負担していただくお金や土地等の売却収入、寄附金など]

親からの援助……………**国庫支出金、県支出金** [国や県から使い道が決められてもらったお金]

ローン借入……………**市債**

[銀行や国などから借りたお金で建設事業費に充てる合併特例債と地方交付税立替分の臨時財政対策債がほとんどを占める]

預金引き出し……………**繰入金** [基金（預金）を取り崩したお金]

去年余ったお金…**繰越金** [昨年度一年間の収入から支出を差し引いて残ったお金]

その他の収入……………**諸収入** [毎月いただく学校給食代や市の総合検診を受けるときの代金、スポーツ教室、公民館事業の参加費のほか、上記にあてはまらない細々とした収入]

支出

食費・光熱費・通信費など…**人件費、物件費** [議員や市長、副市長、教育長、職員などの給与、各委員会の委員報酬や臨時職員の賃金、施設の警備や点検等の民間事業者への業務の委託料、光熱水費、郵便料など]

医療・介護・教育費……………**扶助費・補助費等** [児童、障がい者、高齢者向けサービスや生活保護が必要な方等を援助するお金や地区敬老会や商工会、文化グループなど各種団体や市民の方が行う事業に対する助成金、ごみ処理施設や斎場などの組合へ負担するお金]

家の修理・改築……………**維持補修費・投資的経費** [施設や道路の修繕、学校や道路、公園の整備（建替えや新設、耐震補強など）]

子どもへの仕送り……………**繰出金、貸付金、出資金** [下水道や国民健康保険、介護保険などの特別会計へ出したお金や貸付事業のお金や公益団体などへの出資金]

ローン返済……………**公債費** [銀行や国から借り入れたお金の返済]

預金積み立て……………**積立金** [基金（預金）への積み立て]

【解説】わかりやすい財政白書より

平成 30 年度 小美玉市

わかりやすい決算



おみたま家の家計簿

一般会計決算を家計簿に例えてみました！

平成 30 年度 [平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで]

収入

給料	265 万円
(基本給)	135 万円 (↓ 1 万円)
(諸手当)	130 万円 (↑ 5 万円)
パート収入	12 万円 (↓ 1 万円)
親からの援助	130 万円 (↑ 10 万円)
ローン借入	57 万円 (↑ 15 万円)
預金引き出し	11 万円 (↓ 3 万円)
去年余ったお金	23 万円 (↑ 8 万円)
その他の収入	10 万円 (↓ 1 万円)

支出

食費・光熱費・通信費など	133 万円 (↓ 4 万円)
医療・介護・教育費	137 万円 (前年度同額)
家の修理・改築	118 万円 (↑ 32 万円)
子どもへの仕送り	49 万円 (↑ 6 万円)
ローン返済	44 万円 (↑ 2 万円)
預金積み立て	10 万円 (↑ 3 万円)

1 年間の収入合計 508 万円 (↑ 32 万円) 1 年間の支出合計 491 万円 (↑ 39 万円)

収入と支出の差額 17 万円



預金残高



173 万円 (↓ 1 万円)



ローン残高 535 万円 (↑ 17 万円)



[内訳]

・資産 319 万円 (↑ 17 万円)

・消費 216 万円 (- 万円)

連帯保証等 136 万円 (↓ 2 万円)

(公営企業・三セク保証分、退職手当等の将来負担見込額)



() 内は平成 29 年度 (前年度) との比較
家計簿 1 万円 = 市決算 5,000 万円